



## 海の子どもたちをお迎え

8/1 真鶴町友好交流キャンプ・交流会

市と教育委員会は、神奈川県真鶴町の子どもたちとの交流キャンプを8月1日から2日間の日程で行いました。真鶴町とは平成7年に旧堀金村が友好都市提携を結び、以来、子どもたちとの交流を行っています。この日は、明科の「せせらぎ」で交流会が行われ、市内の児童18人が、工夫を凝らしたゲームで真鶴町の子どもたち40人をもてなしました。真鶴町の青木花世さんは、「空気のすがすがしさに感激しました。良い思い出を持ち帰りたい」と抱負を語りました。



## 竪穴住居跡などを発掘

8月 三枚橋遺跡発掘調査

穂高矢原遺跡群の一つ、三枚橋遺跡の発掘調査が7～8月にかけて行われました。調査は国道147号線沿いの店舗建設に伴うもので、約700平方メートルの土地からは、奈良・平安時代の竪穴住居の跡が5軒と掘立柱建物の跡などが見つかりました。この時代の一般的な住居の大きさが一辺4メートルほどなのに対し、今回の発掘では一辺約7メートルもの大きな住居跡が確認されました。さらに、この住居の入り口部分には階段の跡も発見されていて、専門家も「これほどはっきりとした階段跡は珍しい」と話しています。

## 見事！花じゅうたん

8/10 アルプス花街道イベント

アルプス花街道実行委員会主催の花のじゅうたん「夢」「想」「花」が8月10日、スワンガーデン安曇野で開催されました。市内の小学生から寄せられた図案を基に製作した花のじゅうたんは縦3.6メートル×横6メートルにもなり、訪れた人はその大きさと出来栄えに関心している様子でした。

このアルプス花街道の活動は、安曇野を訪れる皆さんを気持ちよく迎えたいと始まったもので11年目を迎えます。今年は市内87団体1,538人が参加。豊科インター北から重柳交差点付近までの3キロメートルを始めとする市内5カ所でマリーゴールドを育てる活動を行ってきました。イベント前日に行われた花のじゅうたん製作に参加した白井桂子さん（堀金三田）は、「初めて参加してみても楽しかった」と笑顔で話してくれました。



## ふるさとの夏を満喫

8/9 ふるさと夏祭り

第23回三郷地域のふるさと夏祭り（同実行委員会主催）が、三郷文化公園で開かれ、地域住民をはじめ、多くの方がふるさとの夏の夜を満喫しました。

会場内には、露天や各種団体からの出店も並び、水風船釣りや金魚すくい、農産物の販売など人気のコーナーには、次から次へと人が訪れていました。またステージでは、抽選会、各団体による発表、ビンゴゲームなどが行われました。フィナーレには、市の消防団音楽ラップ隊のファンファーレに引き続き、色鮮やかな花火が打ち上げられました。真下から見られる花火に観衆からは大きな拍手や歓声がわき上がりました。



## 県勢初の快挙

8/18 堀金中学校卓球部表敬訪問

堀金中学校卓球部の生徒6人が8月18日、全国大会出場報告のため、市役所を訪れました。同校卓球部は、石川県小松市で行われた北信越大会団体戦で優勝。県勢では史上初となる快挙を成し遂げました。また、個人戦も栗幅千晶さんが全国出場を決めました。このほかに8月は、全国中学校体育大会の走り高跳びに出場した伊澤志歩美さん（豊科北中）、日本クラブユースサッカー選手権（U-15）に出場したFCセダックの宮澤啓太くん（三郷中）・平林裕也くん（三郷中）・望月良樹くん（明科中）、全日本実年ソフトボール大会に出場した安曇野倶楽部の皆さんが訪れ、それぞれ健闘を誓いました。



## 日中友好の芽はぐくむ姉妹校交流

8/11 中国遼寧省海城市第二中学校 表敬訪問

三郷中学校が昭和63年から姉妹校として交流を続けている中国遼寧省海城市第二中学校の訪日団が、8月9日から12日まで安曇野市を訪れました。訪日団は同校の2年生10人と校長ら計15人で、滞在中は三郷中学校生徒の家庭を訪問するなどして交流しました。一行は8月11日、市長らを表敬訪問。生徒からは「環境に対する市民の意識をどう高めているのか」など、熱心な質問が寄せられました。

この交流事業では、海城第二中と三郷中が互いの国を訪問しあっていて、昨年は三郷中のほか堀金中の生徒も交えた15人の生徒が中国を訪れました。